



すずの音

SUZU NONE

札幌鈴木病院
SAPPORO SUZUKI HOSPITAL

札幌鈴木病院広報誌

Medical Information

発行日 / 平成20年12月 ●発行 / 医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院 ●編集 / 広報委員会



広報誌「すずの音」
創刊にあたり

医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院
理事長 医学博士 鈴木 隆

当院は昭和46年、札幌市北区新琴似に地域の家庭医を引き受けた鈴木内科小児科医院として発足しました。その後、昭和53年に精神科、神経科、心療内科が加わり、札幌市北区・東区・石狩市を主な診療圏として、今年で37年が経過し、現在の医療法人 研成会 札幌鈴木病院に発展してきました。

私は発足の当初から、患者さんの立場になって患者さんの気持ちを感じ、お互いに信頼関係で結ばれた医療を提供することを目指してきました。

患者さんが中心であることは当然ですが、医療を提供する者として出来る限りの情報

を提供し、相談し同意を得ながら医療を進めます。そのため病院職員には良い医療、良い治療環境のため常に研鑽を積むよう奨励し、また自らもそれを行ってまいりました。

患者さんが明るく生きがいのある社会生活ができるよう、病院が用意している全ての組織機能を使って努力したいと思います。

この広報誌が私たちの理念と目標、これに取り組む私たちの姿勢を地域の皆様に知っていただき、さらに病院職員には理念と目標に対して共通の認識を持ち、協力して医療にあたってもらようよう心から願っております。



札幌鈴木病院について

医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院

病院長
医学博士 篠原 かほる

精神保健指定医

日本循環器学会専門医

当院は病床数164床で、精神科急性期治療病棟44床、精神療養病棟120床（開放病棟60床、閉鎖病棟60床）の3病棟から構成されています。地域に密着した鈴木内科小児科医院が開設のスタートであったことより、糖尿病やメタボリックシンドロームを主とする内科的ケアができ、かつメンタルケアやストレスケアにも十分な専門的治療のできる病院として存続してまいりました。患者さんが心身ともに健康で明るく、こころ豊かな生活を送れるよう地域医療に貢献していくことを病院理念としております。

開設時より、気分（感情）障害圏の患者さんが新規入院患者さんの約4割と比較的多く、また女性患者さんは急性期治療病棟では、入院患者数の約7割と多いのが特徴です。したがって、院内では女性や高齢者にも優しい、きめ細やかな治療上の配慮を

心がけております。

急性期治療病棟の平均在院日数は約76日で、疾患によりさらに短縮化の傾向にあります。各病棟でより充実した入院治療プログラムと、退院後も充実した生活支援が提供できるよう、職員一丸となって研鑽を積みチーム医療に取り組んでおります。

外来患者数は一日平均約98人で、多くの患者さんに受診していただくため、待ち時間を少しでも緩和するよう神経科・精神科のみ午後の予約制を採用しております。

入院は、当院に通院中の患者さんのみならず、北大病院や市内メンタルクリニック、近隣病院・医院からのご紹介が殆どですが、今後も各医療機関と十分に連携を取りながら、より地域に開かれた病院として患者さんのこころと体の健康を継続的に支えてゆきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



入院治療が必要な患者さんは、短期間で充実した入院治療を完結するために、4階急性期治療病棟で治療を行います。より集中的治療が必要な方は、PICUでの個室治療を行い、安定後は一般病棟で交流を持ちながら、心理検査や画像検査、作業療法（OT）、レクリエーション療法、心理社会的療法や外泊を繰り返し、退院準備を行って自信をつけます。また、亜急性期・慢性期の患者さんは、2階・3階の精神療養病棟で病状の安定化を図ります。



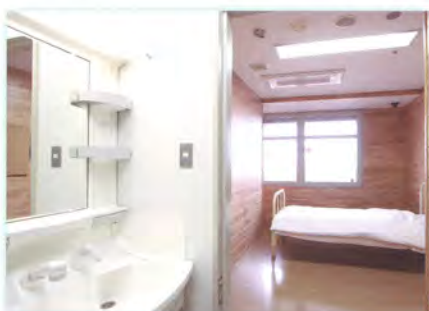
▲待合室



▲診察室



▲病棟ホール



▲急性期治療病棟 PICU 室



▲一般病室



▲作業療法室・病棟 OT スタッフ



心身ともに健康に……。 こころのケアを行います。

こころの健康を語るとき、車の両輪のように「こころと体」＝「心身のバランスを整える」ことは医学的にとても大切です。こころの病気の背景に、内科的な病気が合併していたり、隠れていることもあり、どちらが欠けても健康な生活は送りにくくなるからです。当院では、こころの治療をしっかりと行いながら、必要なときには常勤の内科専門医（糖尿病専門医・内科専門医）による内科的身体管理を受けられます。

糖尿病専門外来を行う▶
鈴木副院長



◀超音波検査の結果を説明する
小野内科医長

退院後の生活支援も充実

デイケア・ナイトケア

デイケア・ナイトケアは、外来治療中で方で、どうしても家に引きこもりがちの方、誰かに悩みを相談したい方、人との付き合いが上手いかわからない方などを対象に、生活のリズムを整え、共に励ましあう仲間作りや生活技術の向上を図ることを目的とします。看護師・作業療法士・ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）・臨床心理士などの多職種のスタッフが、患者さんの様々な悩みを力強くサポートいたします。

■**デイケア**
(月～金)
9:00～15:00

■**デイナイトケア**
(月・火・水・金)
9:00～19:00

メンバーさんの作品



▲皆で力を合わせたモザイクアート

主なプログラム

- ・調理実習・生活技能訓練(SST)
- ・革細工、刺し子などの手工芸・パソコン・書道・茶道
- ・スポーツ(卓球・ダーツ・ピンポンテニス・風船バレーなど)
- ・屋外活動(喫茶・カラオケ・散策・ボーリングなど)



◀デイケアスタッフ



デイケアルーム▶

栄養相談

食事は心身のバランスを整える上で、とても大切な要素です。管理栄養士が、患者さんの病気や状態に適したお食事内容や摂り方を個別にアドバイス致します。



訪問看護

訪問看護は、退院後の生活に不安がある方を対象に、医師の指示のもとご自宅を訪問し、日常生活上の支援を行います。基本的に、看護師とソーシャルワーカーなどの複数で訪問し、患者さんが自主的に健康管理や服薬を行い、社会資源を上手に利用して、自立した社会生活を円滑に送れるようお手伝い致します。



第11回バザーを開催しました。



◀毎年10月のバザーでデイケアメンバーが企画・運営する、院内喫茶「オアシス」の様子

病院理念

私たちは、心と体に病気や障害を持つ患者さん方が、心身共に健康を取り戻し、明るく穏やかで心豊かな生活が送れるよう、常に思いやりの気持ちを持ち、患者さんやその御家族との信頼関係を大切に、地域に必要とされる質の高い医療を提供してゆきます。

基本方針

- ・患者さんに良心的で質の高い医療を提供します。
- ・患者さんの権利とプライバシーを尊重した医療を行います。
- ・スタッフ全員がそれぞれの専門技術の向上に努め、安全で安心できる、きめ細かなサービスを提供します。
- ・患者さんやその御家族に、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- ・人間性豊かな優れた医療人を育成します。
- ・地域の医療機関とも連携し、継続的な医療を提供します。
- ・地域社会に必要とされる、質の高い医療を提供してゆく事により、社会に貢献してゆきます。

患者さんの権利と義務

私たちは患者さんの人権を尊重し、精神保健福祉法に基づいて、患者さんの医療に対する主体的参加を支援いたします。

1. 良質で安全な医療をうける権利
患者さんは個人として尊重され、良質で安全な医療をうけることができます。
2. 十分な説明と情報を受ける権利
診断・治療および予測される経過に関して、十分な説明を受けることができます。
3. 自分の意思で選択する権利
患者さんは治療を選択する権利、あるいは拒否する権利を有します。ただし、患者さんの同意がむずかしい場合、ご家族等の同意により治療を行います。
4. プライバシーが守られる権利
患者さんは自己の治療に関する記録、個人情報およびプライバシーについて保護される権利を有します。
5. セカンド・オピニオンを受ける権利
他の医師の意見を希望される場合は、紹介を受けることができます。
6. 患者さんは、自らの健康に関する情報を正しく伝え、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように協力して医療に参加・協力する義務があります。

診療時間のご案内 [受付時間] 共通／9:00～11:00・13:00～16:00

■心療内科、神経科・精神科外来

	月	火	水	木	金	土
午前(1診) 9:30 ～12:30	掛川	鈴木 (隆)	篠原	秋本	篠原	鈴木 (隆)
午前(2診) 9:30 ～12:30			秋本	掛川		渡辺
午後 (予約外来) 13:30 ～17:00	篠原	秋本	掛川	鈴木 (隆)	渡辺	

心療内科、神経科・
精神科の午後の診察
は予約制となっております。

■内科外来

	月	火	水	木	金	土
午前(1診) 9:00 ～11:45	小野	鈴木 (素)	鈴木 (素)	小野	鈴木 (素)	鈴木 (素)
午前(2診) 9:00 ～11:45		小野				小野
午後 13:00 ～16:30	小野	鈴木 (素)	清水	小野	鈴木 (素)	

※患者さんの状態により、予約時間にズレが生じる可能性があります。
予めご了承下さい。

医療法人社団 研成会 札幌鈴木病院



〒001-0903 札幌市北区新琴似3条1丁目1-27 (2番通り入り口)

TEL (011) 709-5511 (心療内科、神経科・精神科)

TEL (011) 757-5050 (内科、胃腸科、循環器科、小児科)

診療科目

心療内科、神経科・精神科、内科
胃腸科、循環器科、小児科

当院へのアクセス

- JR北海道バス(北46)新琴似線
3条1丁目バス停前(麻生駅前～琴似駅前行)
《麻生駅から約6分乗車》
- 地下鉄南北線麻生駅(8番出口)
《徒歩約12分》
- 地下鉄南北線北34条駅(1番出口)
《徒歩約13分》

●ご意見・ご要望などございましたら札幌鈴木病院広報委員会までお気軽にお寄せ下さい。
札幌鈴木病院広報委員会[担当] 小林 雄太 FAX (011) 709-5512

